

# 平成26年度 事業報告

## 1. 事業の概要

平成26年度は、4月から消費増税がありましたが、株価の復調や円安による景気回復傾向が見られました。

受注契約の8割以上を民間が占める当シルバー人材センターも、このような社会経済情勢の影響を受けたと思われ、結果、契約件数は若干減りましたが、契約金額では、前年度実績を少し上回りました。

一方、会員数ですが、今年度から団塊の世代の方々が順次65歳に到達され、本格的な高齢化社会を迎えており、会員数が増加すると見込まれました。公民館やコミュニティセンターなどにシルバー人材センターの啓発ポスターの掲示やパンフレットの配架を依頼するとともに市バスには広告掲示を致しました。しかし、会員数が思うように増えず、逆に少し減りました。より一層の努力が必要と考えます。

このような状況ではございますが、より多くの会員に就業いただけるよう、就業機会創出員による企業や一般家庭への就業開拓活動など、新たな就業機会の獲得に努めました。また、「就業情報」の提供や積極的な電話による就業の案内を行うとともにワークシェアリングの推進にも努めました。更に、会員の就業相談にも、きめ細かい対応等を行い就業率の向上にも努めました。

次に安全対策ですが、高齢者を対象とするシルバー人材センター事業においては、安全就業の確保は最優先課題です。そうした意味から、安全就業推進員や担当職員による就業先の巡視をはじめ、「草刈機械操作講習会」「会員講習会（交通安全と健康管理）」「植木剪定講習会」の実施や「安全就業通信」の発行など、会員の安全意識の高揚に積極的に努めました。その結果、昨年度に較べ若干ではありますが、事故件数は減りました。これも、安全就業推進員や会員のご協力によるものと思っております。

次に、独自事業でございますが、リサイクル養土「たかちゃん」の販売を行い、会員就業の拡大及びシルバー事業のPRにつなげました。

また、昨年度に引き続き北摂7市3町と合同の「北部ブロックシルバー人材センターフェスティバル」や高槻市シルバー人材センター単独での「シルバーフェスティバル」も開催し、シルバー人材センター事業の普及啓発にも努めました。

なお、平成26年度を起点とする5年間の第二次中期計画に基づき、会員数の拡大や契約金額などに目標を掲げ努力しておりますが、至らないものもございました。より一層の努力をしてまいります。

就業を通して社会に貢献し、生きがいの充実を図ることを目的とする当センターの存在意義は、これからも益々高まることと思われまます。

会員と事務局職員が連携を一層密にし、より一層地域社会に貢献できるシルバー人材センターとなるよう努めてまいります。

平成26年度における取組実績等は次のとおりです。

項 目	平成26年度	平成25年度	増 減
会 員 数	1,183人	1,203人	△20人
就業実人員数	1,034人	1,081人	△47人
年間就業率	87.4%	89.9%	△2.5%
受注契約件数	7,126件	7,324件	△198件
契 約 金 額	49,627万円	49,061万円	566万円

以上が平成26年度の事業の概要ですが、各事業の取組実績は次のとおりです。

## 2. 事業実施報告

### (1) 会員数の拡大と会員の意識向上

#### ① 会員の意識の把握

- ・ 班別会議での意見や窓口での会員の生の声を聴き、会員の意識を把握することに努めました。

#### ② 女性会員の拡大

- ・ 女性就業者や同好会参加者を中心に、女性会員の増加に努めた結果、若干増加しました。

#### ③ 情報発信

- ・ 「会報」「事務局だより」「安全就業通信」「ホームページ」で情報を発信し、シルバー人材センターをアピールしました。特にホームページについては、動画も導入し、充実に努めました。
- ・ 市営バスにシルバー人材センターのポスター広告を掲示し、会員募集及びPRに努めました。
- ・ 公民館やコミュニティセンターなどにシルバー人材センターの啓発ポスターの掲示やパンフレットの配架を依頼し、シルバーの会員募集及びPRに努めました。

#### ④ 会員の意識改革

- ・ シルバー人材センターの会員であることの意識づけの一つとして、「高槻市シルバー人材センター」のロゴの入ったジャンパーとベストを作成し、就業先の了解を得て、就業時に着用してもらいました。

### (2) 就業機会の開拓、拡大及び提供

#### ① 企業や個人家庭への訪問等

- ・ 担当職員が取引事業者を訪問した時や就業機会創出員が企業や個人家庭への訪問活動の中で、パンフレットの配布やシルバー人材センター事業のPRに努めるとともに就業機会の拡大につなげました。

#### ② 独自事業の充実

- ・ 独自事業として、当センター事務所でリサイクル養土「たかちゃん」の販売

を行い、「高槻市都市緑化フェア」や「高槻市農林業祭」などの市のイベントにも参加し、4,009袋を完売しました。

③ 新たな軽作業の検討

・現在行っている地域密着型業務（簡単な営繕、大型ゴミ搬出の手伝い等一般家庭での仕事）の受注拡大を検討しました。

④ 就業需要の調査研究

・高齢者にふさわしい仕事が創出できないかを近隣シルバー人材センターの状況を参考に検討しました。

⑤ 就業相談の充実

・毎月第3・第4木曜日に開催している就業相談では、延べ93人の相談に応じました。

(3) 事業運営の安定

① 事務費率の改定

・事務費率の改定については、当シルバー人材センターの財務状況や近隣シルバー人材センターの動向を見ながら検討しましたが、改定には及ばず引き続き検討することとしました。

② 補助金の確保

・補助金の確保については、高齢化社会におけるシルバー人材センターの社会的役割について、引き続き国及び高槻市に理解を求めた結果、国市とも前年度とほぼ同額の支援が受けられました。

(4) 普及啓発事業の推進

① フェスティバルの開催及び参加

・10月のシルバー人材センター事業普及啓発促進月間の一環として、時期が少しずれましたが、高槻市シルバー人材センターフェスティバルを11月12日、13日の両日、高槻市立生涯学習センター展示ホールで開催し、シルバー事業の普及啓発に努めました。

また、10月19日に「みのおキューズモール ふれあいパーク」において、北摂7市3町合同による「北部ブロックシルバー人材センターフェスティバル」を開催しました。

② 各種イベントへの参加

・高槻市が毎年春・秋の2回開催している「環境美化推進デー」に会員及び職員がボランティアとして積極的に参加し、街の美化に貢献するとともに、シルバー人材センターのPRにも努めました。

・10月19日に行われた高槻市都市緑化フェア実行委員会主催の「第30回高槻市都市緑化フェア」や11月9日に行われた高槻市農林業祭実行委員会主催の「第41回農林業祭」に参加し、シルバー人材センターのPRにも努めました。

③ ホームページ及び市広報紙による情報発信

- ・ ホームページをタイムリーに更新することにより、新しい情報の迅速な発信に努めました。
- ・ 当センターへのお問い合わせ時に「ホームページを見た」というお話を聞く機会が増えてきました。この現状を踏まえ、講習会や研修中の様子を動画で発信するなど、内容充実に努めました。
- ・ 機会あるごとに市広報紙を活用しシルバー人材センターのPRに努めました。

④ 会員への情報提供

- ・ 会員とシルバー人材センターとの共通認識を深めるため、年2回の「会報」及び年5回の「事務局だより」をはじめ、適時の「安全就業通信」を発行し、会員への情報提供にも努めました。
- ・ 職員が「地域班別会議」「職群班会議」「植木就業者全体会議」「公園管理就業者会議」等に参加し、当シルバー人材センターの受注状況及び会員入退会状況などの現状をお伝えし、理解を深めていただくよう、情報提供に努めました。

⑤ 就業機会創出員によるPR

- ・ 就業機会創出員は企業等に訪問し、就業機会の拡大に繋げていますが、個人家庭へのパンフレットの配布をも積極的に行い、シルバー人材センターのPRに努めました。

(5) 技能の向上を図る講習会などの実施

① 講習会の実施

- ・ 発注者のニーズに応えるため、就業に必要な技能を習得するための植木剪定、草刈機械講習会や交通安全講習会などの独自講習会を開催し、会員の知識や技能の向上と後継者の育成に努めました。特に、草刈機械講習会では、座学で理論を学んだ後、実技研修に入るなど、より充実した内容に努めました。

② 「シニアワークプログラム事業」との連携

- ・ 厚生労働省・大阪労働局から委託を受け、高齢者の雇用や就業機会の確保の促進を目的として、公益社団法人大阪府シルバー人材センター協議会が実施する「シニアワークプログラム事業」については、当協議会と連携し、情報提供に努めました。

(6) 安全・適正就業の推進

① 安全管理体制の活用

- ・ 安全への対応が適切に行われているかを把握するとともに、安全就業への意識づけを図るため、安全就業推進員が中心となり、屋外での就業を中心に就業先の巡回を適時行いました。

② 事故防止措置の徹底

- ・ 機械刈りによる事故防止のため、草刈り機械操作講習会を開催し、安全意識

の高揚と事故の減少に努めました。

③ 安全意識の普及と啓発

- ・「安全就業通信」を適時発行し、事故情報の提供や安全就業委員会の取組などを伝える中で、会員の安全就業に対する意識の啓発に努めました。
- ・当シルバー人材センターでは7月を「安全・適正就業強化月間」と定め、会員への啓発に努めるとともに、7月15日には植木剪定及び機械除草就業者と安全就業委員会委員とが就業先の安全対策や課題についての話し合いを行い、安全に対する取組姿勢を確認しました。
- ・高槻警察署及び高槻市健康づくり推進課の協力を得て、1月15日、高槻現代劇場（市民会館）にて交通安全及び健康管理の講習会を開催しました。

④ 健康管理意識の高揚

- ・就業においては、安全確保を最優先課題とし、「安全・適正就業推進基本計画」を策定する中で、全会員が健康で安全に就業できるよう、健康維持の促進と安全意識の向上を目指し、安全就業の強化推進を図りました。
- 特に、夏季の熱中症対策については、会員への周知徹底を図りました。

⑤ 公平で適正な就業

- ・公益法人化により、特に、コンプライアンス（法令遵守）が求められることから、適正な事務執行に努めるとともに、会員への就業の提供に当たっては、公平で適正な就業に努め、ローテーション就業やワークシェアリングを活用し就業拡大に努めました。

(7) 組織体制の整備、強化及び活性化

① 専門部会の充実

- ・総務部会  
事業年度計画の策定、予算の適切な執行、諸規定の整備など事業全般の管理及び運営の推進に努めました。
- ・事業部会  
厳しい経済情勢の中、受託業務内容の分析と拡大への検討を行うとともに、適正就業の推進にも取り組みました。  
また、独自事業においては、リサイクル養土「たかちゃん」の販売を行い、4,009袋を完売しました。
- ・安全部会  
「安全・適正就業推進基本計画」の策定、「安全・適正就業強化月間」の取組、「安全就業通信」の発行、植木剪定及び機械除草就業者と安全就業委員会委員との懇談会の開催、交通安全及び健康管理並びに草刈り機械操作等の講習会の開催など、安全就業の推進に向けて積極的な取組を展開しました。
- ・広報部会  
年2回の会報の発行やホームページの管理を行うとともに、当シルバー人材センター単独のフェスティバルの開催に当たっては、広報部会長が普及啓

発担当責任者として実行委員長を務め、実施しました。

② 地域班活動や職群班活動の活性化

- ・事務局参加のもと各地域の班別会議を開催し、会員相互の連帯意識の向上と親睦を図るとともに、情報交換を行いました。また、「事務局だより」などの各種印刷物の会員への配布も行いました。
- ・地域委員においては、当シルバー人材センター単独のフェスティバルの運営にも積極的に参加しました。
- ・職群班活動においては、就業先ごとに班会議を開催し、課題解決と親睦を図りました。

(8) 一般労働者派遣事業の推進及び有料職業紹介事業の検討

① 一般労働者派遣事業の推進

- ・一般労働者派遣事業については、大阪府シルバー人材センター協議会と連携し、昨年に較べ民間が2件増え、公共1件、民間3件を実施しました。

② 有料職業紹介事業の検討

- ・今年度は、該当がありませんでした。

(9) 事務局体制の整備

① 職員の自己啓発

- ・公益社団法人の職員としての自覚を持ち、自己啓発に努めました。

② 職員間の連携強化

- ・事務局では職員の連携強化に努め、効率的な事務執行を目指すとともに、北摂各シルバー人材センターとの合同研修会や外郭団体の研修会に参加するなど自己研鑽に努めました。

③ 会員との意思疎通の推進

- ・職員が会員の就業先に巡回した時や「地域班別会議」「職群班会議」「植木就業者全体会議」「公園管理就業者会議」等への出席時、あるいは「窓口での対応」や「就業相談（月2回）」など、会員と接する機会の中で、シルバー人材センターへの日頃感じている具体的な意見を拝聴し、意思疎通の推進に努めました。

(10) 事故発生状況

① 傷害事故

- |        |               |
|--------|---------------|
| ア 就業中  | 3件（切れ1件、転倒2件） |
| イ 就業途上 | 2件（交通事故2件）    |

② 賠償事故

- |       |          |
|-------|----------|
| ア 就業中 | 4件（破損4件） |
|-------|----------|

(11) 会議等の開催状況

① 定時総会・監査

会 議	開 催 日	主 な 内 容
定時総会	平成26年5月30日	・平成25年度事業報告について ・平成25年度収支決算報告並びに監査報告について ・理事長に対する権限委任について ・役員を選任について ・平成26年度事業計画について ・平成26年度収支予算について
監 査	平成26年4月17日	・平成25年度事業監査・会計監査について
中間監査	平成26年10月22日	・平成26年度事業中間監査・会計中間監査について

② 理事会

会 議	開 催 日	主 な 内 容
第1回	平成26年4月25日	・平成25年度事業報告について ・平成25年度収支決算報告並びに監査報告について ・役員（理事長）の報酬額改定について ・役員候補者について ・表彰状の贈呈について ・平成26年度定時総会について
第2回	平成26年9月30日	・平成26年度収支補正予算（第1号）案について ・臨時職員就業要綱の一部改正について ・無料職業紹介業務運営規程の廃止について ・理事及び監事候補者選考委員会の設置について
第3回	平成26年11月11日	・平成26年度中間決算について ・理事及び監事候補者選考委員会委員の選出について
第4回	平成27年2月5日	・職員給与規程の一部改正について ・平成26年度収支補正予算（第2号）案について ・職員の退職手当に関する規程の一部改正について ・非常勤職員就業要綱の一部改正について ・適正就業委員会規程の一部改正について ・平成27年度事業計画（案）について ・平成27年度収支予算（案）について

第5回	平成27年3月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度収支補正予算（第3号）案について</li> <li>・職員給与規程の一部改正について</li> <li>・職員の退職手当に関する規程の一部改正について</li> <li>・非常勤職員就業要綱の一部改正について</li> <li>・事務規程の一部改正について</li> <li>・表彰等に関する規程の一部改正について</li> <li>・表彰内規の一部改正について</li> <li>・職員表彰規程の制定について</li> <li>・職員提案実施要綱の制定について</li> </ul>
-----	------------	--

### ③ 専門部会

会議	主な協議内容
総務部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度事業報告 ・平成25年度決算報告 ・諸規程等の改正</li> <li>・定時総会 ・理事及び監事候補者選考委員会 ・中間決算</li> <li>・平成26年度収支補正予算（案） ・平成27年度事業計画（案）</li> <li>・平成27年度収支予算（案）</li> </ul>
事業部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実績 ・就業状況 ・受注拡大と適正就業推進</li> <li>・「たかちゃん」販売 ・緑化フェア ・農林業祭</li> <li>・安全・適正就業推進基本計画</li> </ul>
安全部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・適正就業強化月間 ・安全パトロール</li> <li>・「安全就業通信」発行 ・植木剪定、草刈機械講習会</li> <li>・交通安全及び健康管理講習会 ・大シ協パトロール</li> <li>・安全・適正就業推進基本計画</li> </ul>
広報部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会報発行 ・ホームページ運営 ・フェスティバル</li> </ul>

### ④ 委員会等

会議	主な取組
地域委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全地域班長会議 ・班別会議 ・フェスティバル</li> <li>・定時総会</li> </ul>
安全就業委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・適正就業強化月間 ・植木剪定・機械除草就業 者との懇談会 ・交通安全及び健康管理講習会</li> <li>・植木剪定、草刈機械講習会 ・安全・適正就業推進基本 計画</li> </ul>
適正就業委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・適正就業推進基本計画</li> </ul>
理事及び監事候補者選考委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員候補者の選考</li> </ul>



会報編集委員会	・会報（年2回）の作成、発行
ホームページ運営委員会	・ホームページの運営

(12) 執行体制

役員	理事長1人	副理事長1人	理事16人	監事2人
事務局	事務局長1人			
	庶務・経理	事務局次長1人	職員1人	臨時職員1人
	業 務	事務局次長1人	職員1人	非常勤職員3人 臨時職員1人